

COMMA2016 に参加して

豊東 柊哉

「博士・修士課程学生のための国際研究集会渡航助成」からの支援を頂き、ドイツの Potsdam にて 6th International Conference on Computational Models of Argument (COMMA2016)*¹ に参加してきました。これは議論に関する計算モデル等を扱う学会であり、2006 年の第 1 回以降、隔年で行われています。

学会は 2016 年 9 月 14 日～16 日の 3 日間行われました。私は初日に “Minimal Cost Semantics in Argumentation Framework On Semiring Cost Assignment” *² というタイトルで、Dung’s Argumentation Framework とよばれる標準的な議論モデルにコストを付加した際に、そのコストを用いて議論におけるどういった発言が妥当なものであるかを評価するための手法、およびその実装について発表しました。先行研究の著者を含む人々からコメントを頂き、大変参考になりました。また日本でのこの分野の研究者はあまりいないと認識していたため、日本の研究者の方とも何名かお会いできたことは驚きでした。



写真: Berlin の国会議事堂

*1 <http://www.ling.uni-potsdam.de/comma2016/>

*2 <http://ebooks.iospress.nl/volumearticle/45256>